

令和3年度 長崎県立島原商業高等学校 学校評価表（自己評価）

校 訓	礼節・友愛・創造
教育方針	全生寮教育を通して「自他一如の精神（心）」を養い、知恵と勇気と行動力を備えた人間性豊かな人材を育成する。 【全生寮本旨】 一、自己のうちにもてる全てを 發揮して 生きよう 二、全ての 他人を 生かさう 三、全ての 人とともに 生きよう
教育目標	(1) 商業および家庭に関する専門的知識・技能を活用して社会に貢献できる生徒を育成する。 (2) 思考力と判断力に基づく主体的な行動と自己管理ができる生徒を育成する。 (3) 多様性を認め共生社会の担い手となる人権意識の高い生徒を育成する。 (4) 仲間と切磋琢磨することで心身共に調和のとれた生徒を育成する。
生活信条	○挨拶（島商） しましょう。（心をつなぐ） ○掃除（島商） しましょう。（心をこめる） ○勉強（島商） しましょう。（向学心をもつ） ○部活（島商） しましょう。（心身を鍛える） ○奉仕（島商） しましょう。（思いやりの心をもつ）
キャッチフレーズ	～チャレンジ島商2021～ 守る伝統 拓く一步
前年度の成果と課題	(1) コロナの影響で行事などの縮小や制限があったものの、行事や部活動などを通して保護者との積極的な連携ができた。 (2) 生徒間の些細な問題でも、生徒指導部と情報の共有ができており、早期解決につなげることができた。 (3) 生徒に、基本的な生活習慣を身に付けさせることがなかなかできなかった。 (4) 各種検定試験の合格率の低下が課題である。 (5) 家庭学習の定着を図るため、学習量調査なども行ったが、意識の低い生徒への指導については工夫が必要である。 (6) 教室のICT機器について、動作不良や紛失などもあるため、一度メンテナンスが必要である。
重点努力目標	(1) 基本的な生活習慣の確立 (2) 学力の伸長 (3) 実践的活動の充実 (4) キャリア教育の推進 (5) 地域に開かれた学校づくり (6) 職員研修の充実 (7) 組織力の向上

評価 4：十分達成している

3：おおむね達成している

2：どちらかというとは達成されていない

1：ほとんど達成されていない

※（ ）は昨年度の数値

【評価分野】 1 学校経営

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題	
①学校教育目	学校教育目標の具現化	学校の実態に即した目標を設定し、教職員の共通理解のもとに教育目標の具現化を図る。	前年度の本校教育課題や生徒の実態を踏まえた適切な重点目標を設定する。	3.2 (3.4)	3.3 (3.3)	目標の設定としては適切であるが、生徒への働きかけが弱い。家庭学習の習慣化や全生寮教育の継続が課題である。	
			校務分掌及び学年の経営方針にも学校教育目標を具現化する方策を盛り込んで実践する。	3.4 (3.3)	3.2 (3.3)	分掌や学年によって見えにくい部分もあるので、それぞれ強化週間などを設けて取り組むなどが必要ではないか。	
			目標達成の度合いを年度途中で評価・確認する機会を設け、その後の教育活動に生かす。	3.3 (3.2)	3.3 (3.2)	目標管理シートなどを使って、振り返りができる部分もあるが、全体で時間をとって振り返る機会があるとよい。	
②学校経営方針	経営方針の明確化とその実践	経営方針が学校内外に明確に示され、教職員間の相互理解と保護者・地域の支持に基づく教育活動を行う。	教育方針や教育目標等を生徒・保護者・地域等に、説明や宣伝する機会を設け、定員確保に努める。	3.5 (3.5)	3.1 (3.5)	担当者が頑張っているが、時期や回数検討が必要である。普通の校外での生徒の様子も学校の評判を左右する。	
			各教職員が経営方針を意識して教育活動を展開する。	3.4 (3.3)	3.3 (3.4)	「守る伝統拓く一步」のキャッチフレーズが必要である。更に全職員で意識することが必要である。	
			本校の教育課程を明確にして、中期的な学校ビジョンを検討する。	3.0 (3.1)	3.0 (3.1)	学科の特色に応じた教育課程が組まれていると思う。生徒に付けさせたい資質、能力の共有が必要である。	
③学年経営	学年目標の具現化	全生寮教育を通して高校生活の基礎を築き、島商生としての自覚を持たせる。	1年	基本的な生活習慣を確立させ、社会生活への適応力を養う。	3.0 (3.2)	3.1 (3.1)	ほとんどの生徒は確立できているが、適切な言葉遣いや場に応じた挨拶なども含めて、一部の生徒にはまだまだ指導が必要である。
			1年	キャリア教育を推進により、自身の能力や適性を理解させ、自己と職業を関連付けて考える力を培う。	3.2 (3.3)	3.4 (3.4)	検定取得や進路指導に関するLHRで意識の高揚が図れた。自分の希望と適性、能力がミスマッチの生徒に対する指導が今後の課題である。
			2年	日々の授業や家庭学習の充実を図り、学力向上に努めさせる。	2.9 (2.8)	2.8 (2.7)	家庭学習時間調査の活用、家庭との協力などを行いながら、学びに向かう意識の低い生徒への指導が必要である。
				個人・保護者面談を通じて、早期に進路目標を決定させ、その実現に向けて努力させる。	3.2 (3.2)	3.3 (3.1)	生徒、保護者との面談時間の確保が課題であるが、面談や職場体験、進路学習を通して、意識の高揚が図れた。
			3年	規則正しい生活の中で主体的に考え行動する自主・自立の精神を養う。	3.0 (3.0)	2.9 (3.1)	学校行事などを通して、主体的に取り組む態度が身に付いた部分もあるが、周囲への配慮や適切な言動ができない生徒も多いのが現状である。
				個々の生き方や在り方を尊重し、能力・適性を活かした進路実現を支援する。	3.4 (3.3)	3.5 (3.3)	先生方の丁寧な指導で全員の進路決定ができた。一方で自身の意識が高まらず、取り掛かりの遅い生徒もいた。
④学級経営	学級目標の具現化	学校目標や学年目標に沿った学級づくりを行う。	学校目標や学年目標に沿って、学級の実態に応じた学級目標を設定し、学級経営を行う。	3.1 (3.3)	3.3 (3.4)	それぞれの学級、学年で適切な目標が設定され、職員間で共有することができた。生徒も目標に向かって取り組む姿勢が見られた。	

【評価分野】 2 教育活動						
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題
①教科指導	わかる授業の展開と工夫・改善ならびに適切な学習評価	生徒の実態に応じて教材の精選をし、各教科で創意工夫がなされた効率的な授業を行う。 三年間を見通した目標を設定し、計画的な高資格取得を目指す。	生徒の家庭学習時間を一日平均1時間以上にし、基礎学力の向上を目指す。	2.5 (2.4)	2.3 (2.4)	Formsを利用した家庭学習時間調査を指導に生かしたり、定期的に宿題を課すなどしているが、習慣として身に付けるまでには至っていない。
			ICTを活用したわかりやすい授業を実践する。	3.0 (3.2)	3.3 (3.1)	オンライン授業が実施できたことは良かったが、活用とまではいかない。校内研修の更なる充実や、導入後の効果の検証なども必要である。
			習熟度・添削等、個に応じた指導を行い、各種検定の合格率を上げる。	2.9 (3.2)	3.0 (2.9)	補習や添削などで成果が上がった。Teamsを利用した検定対策も行った。更に効果を上げるには部活動との兼ね合いや教員数などの問題がある。
			観点別評価で生徒を多面的に評価する。	3.1 (3.2)	3.1 (3.4)	新学習指導要領に即した評価を研究し、多様な生徒の能力を育む対策を講じたい。慣れない部分はあるが、積極的に実践していくしかない。
②特別活動	H R 活動や生徒会活動・学校行事の充実	生徒自身による自発的な活動を実践する。	各ホームルーム委員の積極的活動と校内外における一人一役を推進する。	3.0 (3.2)	3.0 (3.1)	役割を与えてやる気を育てる仕組みを作るように心掛けているが、コロナの影響で活動できないところもあった。一部の生徒がよく動いているように見える。
			生徒会・家庭クラブ活動を活性化して、地域行事やボランティア活動に積極的に参加する。	2.7 (2.9)	2.8 (2.5)	予定していた活動はあったが、コロナ禍で実際の活動が思うようにできず、大変残念であった。
③生徒指導	基本的な生活習慣の確立	全生寮教育の充実を図り、全教職員による継続した指導を徹底する。	授業の折には必ず礼儀作法・服装・学習態度(遅刻時の指導も含む)など具体的指導に努める。	3.0 (3.1)	3.1 (3.2)	特にひどい生徒は見られないが、気付いた時に何度も継続して指導することが大切である。職員の共通理解を図り、全職員で取り組む必要がある。
			交通ルールの遵守と自転車の二重ロックの徹底に努める。	2.9 (3.2)	3.2 (3.2)	生活委員を中心に、自転車点検など定期的に行われている。特定の生徒が違反を繰り返すこともあったが、概ね良好であった。
④進路指導	一人ひとりの自己の能力の伸長と適正を活かす進路指導を図る	三年間を見通した効果的なキャリアガイダンスを実施する。	生徒、保護者への進路ガイダンスの実施と充実を図る。	3.4 (3.5)	3.5 (3.6)	LHRなども活用しながら、進路指導部を中心に充実している。今後、回数や実施のタイミングなどを検討する必要がある。
			生徒、保護者への進路情報をこまめに提供する。	3.2 (3.2)	3.5 (3.4)	進路だよりやキャリアサポ通信などを使って、積極的に情報提供が行われている。
			新たな進路先(企業・大学)の開拓を図る。	3.1 (3.0)	3.3 (3.1)	現在でも行われているが、更に継続して進路先、就職先の開拓をする必要がある。
⑤健康・安全教育	健康や安全に対する態度の醸成	健康・安全についての正しい知識と理解を深める。心身の健康の保持増進を実践できる生徒を育成する。	健康診断など保健行事を円滑に実施し、生徒の理解に努める。	3.5 (3.6)	3.6 (3.7)	保健だよりが多く発行されており、大変ありがたい。保健室からの情報を元に、面談等で生徒理解にも役立っている。
			担任・部顧問・カウンセラー部との連携を図り、早期問題解決にあたる。	3.5 (3.5)	3.4 (3.7)	問題を未然に防ぐためにも、職員、管理職を含め日頃の情報共有が必要である。部顧問と担任、学年との連携も深めることができた。
⑥人権教育	人権尊重に対する普遍的価値観の醸成	人権尊重に関する課題を認識させ、解決のための実践力を身に付けさせる。	人権教育の学習を通し、全生徒・職員の意識を高める。	3.6 (3.6)	3.6 (3.7)	計画的に、また回数も多く効果も上がっていると思う。生徒の日頃の行動に反映させるには、更に地道な指導が必要である。
			生徒理解のための諸検査を実施し、個別面談に活用する。	3.6 (3.6)	3.6 (3.7)	各種検査が計画的に実施されており、生徒の実態把握に大変参考になっている。Formsの活用で、集約の負担もかなり軽減された。
	カウンセリングの充実	カウンセリングマインドを持って生徒の相談に応じる。	担任・他分掌・学年との連携を密にし、いじめやメール等の嫌がらせ・不登校の根絶を図る。	3.4 (3.5)	3.5 (3.6)	各担任の丁寧な指導により、大きな問題は起こっていない。今後もひとりで抱え込まないように、組織として動ける体制が必要である。
⑦特別支援教育	特別支援教育体制の整備	特別な教育的支援を必要とする生徒に対する支援体制の充実を図る。	特別支援教育コーディネーターを中心に、必要に応じて職員の指導力の向上を目指して研修を実施する。	3.3 (3.3)	3.3 (3.4)	今年度は研修ができていないので、今後計画して実施したい。
⑧部活動	部活動の活性化	部活動の計画的かつ効率的な活動を目指す。	部活動指導ガイドラインに沿った計画的な指導を行い、部活動の活性化を図る。	3.3 (3.3)	3.4 (3.5)	日々の部活動に生徒は積極的に取り組んでいる。中には目標に対する行動が伴っていない生徒もいるので、目的を明確にして取り組ませたい。
【評価分野】 3 組織運営						
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題
①校務分掌	適切な役割分担・組織的な活動と運営	各自の役割分担を明確にして、適切に仕事を処理する。	校務事務支援システムを有効に活用し仕事の負担軽減を図る。	3.1 (3.3)	3.4 (3.4)	システムの有効活用を更に進めるために、活用方法の周知が必要である。出欠統計などは、カウンセラーと共有して利用することができた。
			学校全体の校務が円滑に推進できるように、分掌相互間の連携を図る。	3.2 (3.2)	3.2 (3.3)	主任ミーティングで、情報の共有が図られている。
②各種委員会	目的に応じた適切な委員会の設置とその運用	各種委員会の活動の効率化と活性化を図る。	各種委員会での協議結果を、教育活動や学校経営に生かす。	3.0 (3.1)	3.1 (3.1)	各種委員会の活動内容等の報告を、色々な場面で発信して欲しい。
③校内研修	研修体制の確立と実践	職員研修の充実を図る。	全員、年に1回以上はICTを活用した授業を公開する。	3.0 (3.2)	3.1 (3.1)	タブレットの導入により、ICT機器の活用が急速に進んだが、時間的、精神的余裕がなく、授業公開まではなかなか考えられない。
④教職員教育	教職員の資質向上への取り組み	教育センター等の研修に積極的に参加する。	各種公的研修会へ積極的に参加し、資質の向上と意識改革を図る。	2.7 (2.9)	2.7 (2.5)	コロナ禍で参加が難しかった。オンラインの研修会もあるが、校内で集中して参加する環境を整えるのは、難しい状況である。

【評価分野】 4 教育環境						
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題
①学校環境の整備	潤いのある生活環境・教育環境の整備	清掃活動を通じ、協調性や奉仕の精神を養い、創意工夫の心を培う。	全校生徒、全教職員で積極的に清掃活動に取り組む。	3.0 (3.4)	3.2 (3.4)	掃除への取り組みが遅く、取り組みも消極的なため、掃除が行き届いていない気がする。範囲が広いこともあるが、教員がきちんと指導すべきである。
②施設・設備の管理	施設・設備の安全管理と経費の節減	施設・設備の有効活用を図り、安全点検等の管理を適切に行う。	施設設備の安全点検を計画的に行い、必要に応じて改修や補修を行う。	3.1 (3.4)	3.4 (3.5)	予算の範囲内でできることには対応している。施設の老朽化に伴い、修繕する箇所も多くなるので、定期的な点検が必要である。
			水道・光熱費、通信費等の節約に努める。	3.0 (3.3)	3.2 (3.3)	電気や空調を付けたままにしていることも多いので、各々が節電の意識を持って取り組むことが大切である。施設の点検も継続して行う。
③情報インフラの整備・充実	教育活動全般の情報化	情報機器等を使った校務処理を適切に行う。	パソコンとプロジェクターを使いこなせるように努力すると共に、教科指導などに活用する。	3.5 (3.4)	3.5 (3.5)	タブレットの効果的な活用については、様々な試みが行われた。今後も活用できるように研鑽が必要である。
	ホームページの更新	学校の情報発信源とし、PRの手段とする。	ホームページを見やすくし、定期的に更新し最新情報を伝達する。	3.2 (3.1)	3.3 (3.1)	CMS化することで、多くの教員が更新できるようになったことは良かった。今後はそれを見てもらえるようなアナウンスが必要である。
【評価分野】 5 開かれた学校づくり						
評価項目	具体項目	目標	具体的方策	中間	最終	成果と課題
①保護者との連携	PTA活動の充実	積極的に学校を開放し、地域からの信頼と理解を図る。PTA活動を活性化させる。	本校の教育活動を積極的に公開し、保護者や地域から信頼と理解を深める。	3.2 (3.3)	3.3 (3.4)	SNS等を通じて、保護者や地域に学校の情報を発信していくような工夫も必要ではないか。
			PTA総会や諸活動への参加率を上げる。	3.0 (3.3)	3.2 (3.3)	コロナの影響で難しかった。
②地域や関係機関との連携	学校間の連携の充実	他校や異校種との効果的な連携を図る。	県内の大学、近隣地域の高校・中学校との情報交換や連携を図る。	2.8 (3.1)	2.9 (2.9)	福祉の授業で、県内の大学の先生を招聘して情報交換をしていただいた。
	外部講師の招聘	外部講師を効果的に活用する。	地域の人材を専門教科やHR等において効果的に活用する。	3.1 (3.5)	3.5 (3.6)	課題研究やエキスパートセミナーなどで、地域との連携が図られており成果もあった。特に卒業生の講話は、在校生にとって示唆に富む内容であった。
	学校評議員との連携	学校評議員会を充実させる。	運営方針等について学校評議員の意見を聞き学校運営に反映させる。	3.2 (3.4)	3.3 (3.4)	行事のライブ配信の提案をいただき、実際に配信を行って保護者に楽しんでもらうことができた。
【総評】						
評価の結果 (課題と問題点)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での計画や事前指導ではあったが、職場体験学習、修学旅行が無事に終了してよかった。 ・個で対応するのではなく、多様な生徒の現状を把握し的確に判断し指導できるよう、情報の共有に努めたい。 ・1人1台パソコンが導入されたので、それをいかに活用させ学力向上につなげられるかが課題である。 ・挨拶については、もう一度指導を全体的にしていけるべきである。 ・コロナ禍での特別活動（ボランティア等）について模索する必要があると感じた。 ・本校の生徒にとって、自分の学んできたことをきちんと言語化できること、地域と積極的に関わる体験を多く積みながら、自己の成長を認識できることが特に大切なのではないかと感じている。 					
来年度の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・自学や家庭学習の習慣を身に付けるための指導や工夫を探る。 ・進路実現に向け、3年間を見通した個々の生徒のキャリアガイダンスを強化する。 ・コロナ禍において、分散授業やオンライン授業の充実を図る。 ・「情報共有」「外部との連携」「校内の連携」を今年度以上に心がける。 ・カリキュラムマネジメントの充実を図る。 ・中学校の地元離れ、生徒の定数確保など、この問題に引き続き職員全体で取り組む必要がある。 ・次年度授業の評価方法が変わることをきっかけに、自分自身の授業改善につなげたい。 ・施設・設備の老朽化に伴い、定期的な点検が重要と考える。 					

令和3年度 長崎県立島原商業高等学校 学校評価 保護者アンケート集計結果

I 調査対象者数 304名(回答数301名)

II 調査回収率 99.0%

III 評価基準 各質問に対して

4: そう思う(あてはまる) 3: どちらかというと思う(ややあてはまる)
2: どちらかというと思わない(ややあてはまらない) 1: そう思わない(あてはまらない)

項目	番号	内 容	1年	2年	3年	全体	昨年
1 教育活動	1	本校の教育方針や努力目標はわかりやすいものになっている。	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4
	2	子供は全生寮宿泊研修で養った精神を日頃の学校生活で活かしている。	3.1	2.9	3.1	3.0	3.1
	3	子供は社会のルールや本校のルールを良く守っている。	3.4	3.3	3.4	3.4	3.3
	4	子供は地域のイベントやボランティア活動に意識して参加している。	2.7	2.6	2.8	2.7	2.8
	5	子供は積極的に部活動に参加している。	3.6	3.7	3.5	3.6	3.6
	6	学校では、容儀・マナー・あいさつや言葉遣いなどの指導は十分行われている。	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4
	7	学校は子供に関する保護者の相談にきちんと対応している。	3.2	3.2	3.3	3.2	3.4
2 学習活動	8	子供は授業が分かりやすいと言っている。	3.0	2.8	3.0	2.9	2.9
	9	子供は進路や資格取得など目標を持って学業に励んでいる。	3.3	3.2	3.5	3.3	3.3
	10	子供には日頃から家庭学習を行うように声をかけている。	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
3 教育環境	11	学校は教育に必要な施設・設備が整っている。	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2
	12	子供は環境問題に関心があり、ゴミ減量やリサイクル運動等を意識して取り組んでいる。	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9
	13	学校は清潔で清掃が行き届いている。	3.4	3.3	3.4	3.4	3.3
4 開かれた学校	14	学校の施設は保護者や地域に開放されている。	3.2	3.0	3.1	3.1	3.2
	15	学校は学校の様子や諸行事に関する情報を家庭や地域にきちんと提供している。	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
5 その他	16	PTA活動や学校行事に進んで参加している。	2.9	2.8	3.0	2.9	2.9
	17	子供は明るく生き生きとした学校生活を送っている。	3.5	3.4	3.6	3.5	3.5
	18	子供は学校での出来事を家庭で話してくれる。	3.5	3.3	3.4	3.4	3.3

令和3年度 長崎県立島原商業高等学校 学校評価 生徒アンケート集計結果

I 調査対象者数 304名(回答数303名)

II 調査回収率 99.7%

III 評価基準各質問に対して、

4: そう思う(あてはまる)	3: どちらかというと思う(ややあてはまる)
2: どちらかというと思わない	1: そう思わない(あてはまらない)
(ややあてはまらない)	

項目	番号	内 容	1学年	2学年	3学年	全体	昨年
1 教育活動	1	あなたは島商の努力目標やキャッチフレーズ(守る伝統 拓く一歩)を念頭に置いて行動している。	3.2	2.9	3.1	3.1	3.1
	2	あなたは積極的にあいさつを行っている。	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4
	3	あなたは全生寮宿泊研修で養った精神を日頃の学校生活で活かしている。	3.3	2.9	3.2	3.1	3.3
	4	あなたはルールやマナーを守り、容儀や言葉遣いなどをきちんと行っている。	3.5	3.2	3.4	3.4	3.5
	5	あなたは日頃から周囲や相手のことを思いやって生活ができています。	3.5	3.4	3.6	3.5	3.5
	6	あなたは地域のイベントやボランティア活動に意識して参加している。	2.7	2.2	2.5	2.5	2.6
	7	あなたは部活動に熱心に取り組んでいる。	3.5	3.7	3.5	3.6	3.5
	8	先生方は生徒が校則違反をした時、きちんと指導してくれる。	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5
	9	先生方は親身になって何事にも相談にのってくれる。	3.3	3.1	3.4	3.3	3.3
	10	島商は進路に関する情報を提供してくれる。	3.5	3.3	3.4	3.4	3.4
	11	島商では命を大切にする教育や人権・平和教育が行われている。	3.6	3.5	3.6	3.6	3.5
	12	島商ではボランティア活動など地域と交流する活動が行われている。	3.3	3.0	3.2	3.2	3.2
2 学習活動	13	あなたは進路や資格取得など目標を持って学習に励んでいる。	3.5	3.3	3.6	3.5	3.4
	14	あなたは家庭学習を1日60分以上行うよう努力している。	2.6	2.2	2.2	2.3	2.4
	15	島商の授業は工夫がなされ分かりやすい。	3.1	2.9	2.9	3.0	3.0
	16	島商の授業では教科書以外の補助教材や教育機器等が活用されている。	3.4	3.4	3.5	3.4	3.3
	17	島商では適性・進路に応じたコースや科目を選択する指導が行われている。	3.6	3.4	3.5	3.5	3.4
	18	あなたは政治や選挙に関心があり、自ら社会への参画を目指している。	2.8	2.4	2.8	2.7	2.7
3 教育環境	19	島商では教育に必要な施設・設備が整っている。	3.2	3.0	3.0	3.1	3.1
	20	島商は清潔で清掃が行き届いている。	3.1	2.9	3.1	3.0	3.1
	21	島商では健康や安全に関する指導が行われている。	3.4	3.3	3.5	3.4	3.3
	22	あなたは環境問題に関心があり、ゴミ減量やリサイクル運動等を意識して取り組んでいる。	3.2	2.8	3.3	3.1	3.2
4 その他	23	島商の生徒会活動は生徒が中心となって運営している。	3.4	3.2	3.5	3.4	3.4
	24	あなたは学校の出来事を家庭で話している。	3.4	3.2	3.4	3.3	3.3